

新商品紹介-1

New Products

高性能水性シーラー
「マイティー万能水性シーラー」Waterborne High Performance Sealer
「Mighty Banno Susei Sealer」塗料事業部門
建築・構造物塗料事業部

「マイティー万能水性シーラー」は、溶剤形シーラーに匹敵する素地適性を水性で実現。コンクリート、モルタルなどの無機系素地をはじめ、木部、非鉄金属、住宅役物用FRPに適用でき、さらに鉄部にも塗装可能な防錆性を付与した商品である。

特長

- 無機系素地から非鉄金属、FRPまで付着する幅広い素地適性
- 防錆性を付与しているため、鉄部への適用も可能
- 旧塗膜の適性幅が広く、付着しにくい無機・光触媒コーティングの外壁材にも適用可能
- 脆弱な素材・旧塗膜の含浸補強性能に優れる
- 低VOCで低臭気
- 旧塗膜のリフティングの心配がない

用途

- 新設—無機系素材、金属系素材
- 塗り替え—建築物内外装、屋根

素地・旧塗膜適性の各種試験結果

1. 耐水性(23℃脱イオン水 7日間浸漬) 各素地適性・旧塗膜適性がある。

【素材:フレキシブルボード】

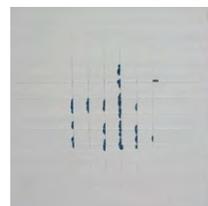


素材側

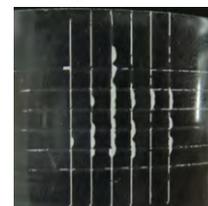


テープ側

【素材:カラートタン】

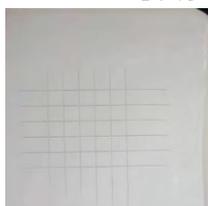


素材側



テープ側

【素材:アルミニウム】



素材側



テープ側

【素材:アクリルシリコン仕上げサイディング材】



素材側



テープ側

2. 防錆性 (複合サイクル試験 36サイクル)

【マイティー万能水性シーラー 白】



【防錆性を有さない水性シーラー 白】



適用可能な素地

色相	無機系素材							サイディングボード				金属系素材				樹脂素材		各種木材⑦		
	コンクリート・モルタル	けい酸カルシウム板①	ALC②	プラスチックボード	押出成形板	新生屋根	GRC・PC板	磁器タイル・ホーロー	通常塗装板	ふっ素塗装板	無機系コーティング	光触媒コーティング③	鉄部	カラーコート④	アルミニウム	電気亜鉛めっき鋼板⑤	ガルバリウム鋼板		硬質塩ビ樹脂	FRP⑥
白	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クリアー	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	△	×	×	○	×	○	○	○	○

①けい酸カルシウム板へ塗装する場合、1回塗装し、研磨を行った後、2回目の塗装を行うと仕上がりが向上します。②ALC板は、弾性フィラー・袖元5号Sなど、下地調整材で巣穴を埋めた後、塗装を行って下さい。③光触媒コーティングへのクリアーは塗装可能ですが、紫外線透過の面から、白を推奨します。④新品のカラーコートには塗装しないで下さい。⑤溶融亜鉛めっきには塗装しないで下さい。⑥FRPは硬質材のみです。FRP防水材には塗装しないで下さい。⑦新設木材は、ヤニを削り取り、電気ゴテ焼を行った後、溶剤で拭き取ってから塗装を行って下さい。

代表的な推奨上塗塗料

	塗料名
弱溶剤形	・DNTシリコンスマイルクリーン ・DNTウレタンスマイルクリーン ・リフレッシュシリコンEXTRA ・Vフロン#200スマイル
水系	・水性リフレッシュシリコン ・エコクールアクアSi ・DNTビューシリーズ ・ハイライトシリーズ ・水性ビルデッキシリーズ

標準塗装仕様

工程		商品名	塗装方法	希釈率(%) (重量比)	塗装回数	標準使用量 (kg / m ² / 回)	塗装間隔 (20℃)
1	素地 ごしらえ	無機 金属	ワイヤブラシやサンドペーパーなどを用いて、汚れや付着物を除去する。				
	下地調整	無機 金属	サンドペーパーや電動工具などを用いて、目粗し及び汚れや付着物を除去する。				
2	下塗り	マイティー万能水性シーラー 白 (又は)	刷毛・ローラー	0~10	1~2※1	0.10~0.12	4時間以上※3
			エアレス	0~20		0.12~0.15	
		マイティー万能水性シーラー クリアー	刷毛・ローラー	0~10	1~2※2	0.10~0.12	
			エアレス	0~20		0.12~0.15	
3	完全水系上塗り仕様	【新生屋根】 水性リフレッシュシリコン 【外壁・鉄部】 DNT ビューシリコン 【遮熱】 エコクールアクアSi	各種上塗塗料の塗装基準に準ずる。				
	弱溶剤系上塗り仕様	【新生屋根】 リフレッシュシリコンEXTRA 【外壁・鉄部】 DNT シリコンスマイルクリーン 【遮熱】 エコクールマイルドSi					

※1 さびの発生が著しい場合は、素地調整後、下塗りを2回塗装して下さい。

※2 吸い込みが激しい素地の場合は、下塗りを2回塗装して下さい。

※3 上塗塗料が弱溶剤系の場合の塗装間隔は、16時間以上です。